

水稻情報 (第5号)

平成30年7月11日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

- 今年のコシヒカリの幼穂形成期（幼穂が2mm頃）は、5月14日田植えで7月11日頃、出穂期は8月2日頃と推測されます。
- また、コシヒカリは近年並みに茎数が確保されています。
- 肥効調節型（一発）肥料でも葉色が薄い場合は、出穂1週間前～出穂直前（走り穂）まで追加穂肥を施用し、適切な葉色に誘導してください。

1. コシヒカリの穂肥施用 ～ほ場ごとに確認し、適期穂肥で目指せ品質向上・収量確保！～

表1 JA あおば管内データ:コシヒカリ (7/3 調査)

	草丈	茎数	葉令	葉色
H30年	59.2cm	489本/m ²	11.3	4.2
近年(H25～29)	62.2cm	498本/m ²	11.4	4.1

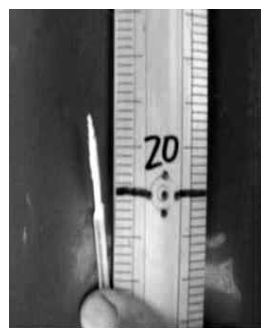
表2 コシヒカリの幼穂形成期と穂肥時期の目安 (平坦地)

田植日	幼穂形成期	1回目穂肥施用時期
5月14日	7月11日頃	7月19日頃

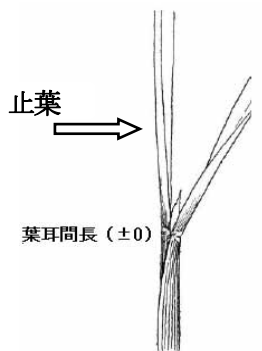
◎肥効調節型（一発）基肥の場合 (LPss コシヒカリ1号、コシヒカリ2号等施用)

出穂前の葉色が薄い場合は追加穂肥!

出穂7～10日前（7月23日頃）の葉色が4.0（砂壤土は4.2）以下で薄い場合は、追肥3号を出穂3日前までに5～10kg/10a施用しましょう。



分施肥のコシヒカリ
1回目穂肥適期



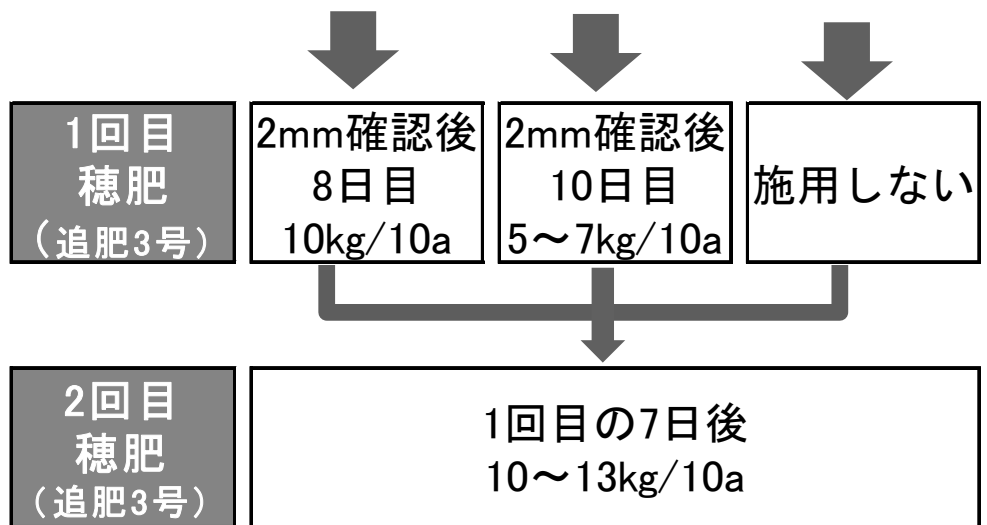
肥効調節型基肥の
追肥開始可能時期

◎分施の場合

1回目の穂肥は、幼穂長15mm（2mm確認後8日目）が基本!

穂肥時（幼穂長15mm）の生育状況

生育量	標準	やや旺盛	旺盛
草丈	85cm未満	85～90cm	90cm以上
茎数 (本/m ²)	430本程度	480本程度	500本以上 かつ
葉色	3.6程度	3.8程度	3.8以上



2. てんこもりの穂肥施用

○分施の場合

穂肥は、幼穂形成期（幼穂長2mm程度の時期：7月13日頃）と、その10日後の2回各々追肥3号を10～13kg/10a施用しましょう。

○肥効調節型（一発）肥料の場合

出穂14日前（7月21日頃）の葉色が4.0（砂壤土：4.2）以下の場合は、追肥3号を出穂3日前までに7kg/10a施用しましょう。

3. 今後の水管理

～フェーンや高温が予想されるときは事前に入水しましょう～

【出穂までは飽水管理】

「ほ場にたっぷり入水→自然減水→足跡の水が無くなる前に入水」を繰り返す。

出穂期

【出穂期から20日間】

湛水状態（田面が出ない程度）を保ちましょう。

20日間の湛水管理

【収穫5～7日前まで】

間断かん水（足跡の水が無くなったら入水）を行い、落水を急がないようにしましょう。

収穫

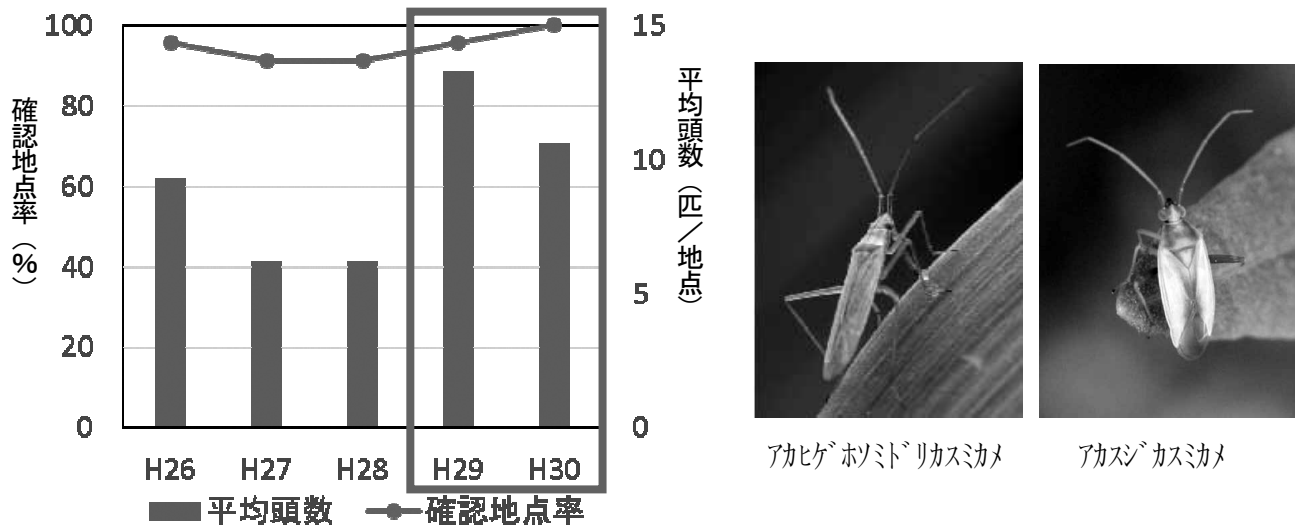
うら面に続く

カメムシ対策 第5回

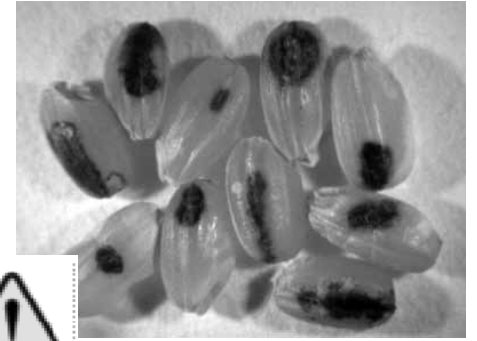
～草刈りと防除の徹底で斑点米ゼロ!!～

7月6日
カメムシ注意報発令!

斑点米の原因となるカメムシが昨年同様、多く発生しています!



アカヒゲホリドリカメムシ アカシジカメムシ



1,000粒に斑点米が2粒以上混入すると2等以下に格落ちします!

図1 畦畔・雑草地のカメムシ確認地点率と発生頭数
(JA あおば管内 調査は6月下旬実施)

- ・カメムシが好むイネ科雑草の穂が出ないように（およそ3週間間隔）で草刈り等を徹底しましょう。 ※ほ場内のヒエ等が残っている場合も穂が出る前に抜き取りましょう。
- ・やむを得ず穂の出ている雑草を刈る場合は、本田の薬剤防除の直前に行いましょう。
- ・基本防除の徹底で斑点米を防ぎましょう。特に共同防除を実施することで、効果が高まります。
- ・基本防除の散布間隔は7日間を目安とし、10日間以上あけない。

30年産米から防除体系を変更!
全品種、穂前期+傾穂期の2回防除

表4 防除時期の目安 (平坦地)

品種	てんたかく	コシヒカリ	てんこもり
出穂予想	7/19~7/21 (連休植) ※	8/1~8/3 (5月14日植) ※	8/4~8/6 (5月7日植) ※
1回目	穂前期 7/23~7/26 粉剤: ビームスタークル粉剤 5DL 3~4kg/10a 液剤: ビームエイトスタークルゾル	穂前期 8/5~8/7 粉剤: ビームスタークル粉剤 5DL 3~4kg/10a 液剤: ビームエイトスタークルゾル	穂前期 8/8~8/10 粉剤: ビームスタークル粉剤 5DL 3~4kg/10a 液剤: ビームエイトスタークルゾル
2回目	傾穂期 7/30~8/1 粉剤: キラップ粉剤 DL 3~4kg/10a 液剤: キラップフロアブル	傾穂期 8/12~8/14 粉剤: キラップ粉剤 DL 3~4kg/10a 液剤: キラップフロアブル	傾穂期 8/15~8/17 粉剤: キラップ粉剤 DL 3~4kg/10a 液剤: キラップフロアブル
※キラップ粉剤・液剤ともに、使用時期は収穫14日前まで			
3回目 (多発時)	【随時】 収穫7日前まで 粉剤: スタークル粉剤 DL 3kg/10a 液剤: スタークル液剤 10	【随時】 収穫7日前まで 粉剤: スタークル粉剤 DL 3kg/10a 液剤: スタークル液剤 10	【随時】 収穫7日前まで 粉剤: スタークル粉剤 DL 3kg/10a 液剤: スタークル液剤 10

- 液剤等の量は1000倍希釈液を100~150L/10a 散布する。
- 農薬の施用前に、使用法等を再度確認しましょう。また、風の無い時間帯を選んで均一に散布して下さい。
- ※ 田植時期等により、生育が異なる場合は稲の生育時期に合わせて防除を行って下さい。

【粒剤体系 (コシヒカリの場合)】

- 1回目 : 7/23頃 (出穂5~10日前) にイモチエースキラップ粒剤を3kg/10a 湛水散布
- 2回目 (随時) : 8/6頃 (穂前期) にスタークル豆つぶを250g/10a 湛水散布

畦畔まで薬剤が
かかるよう
散布しましょう!



農薬散布は、
周辺のほ場へ飛散しないように
注意しましょう!

水稻情報第6号は、7月25日の発行予定です